

こども未来部 保育園・幼稚園・こども園

第1 監査の概要

- 1 監査の種類 定期監査（財務監査・行政監査）
- 2 監査の対象
 - 監査対象部局 こども未来部 保育園・幼稚園・こども園
 - 対象年度 令和6年度
 - 監査対象事項 財務事務等
- 3 監査等の実施場所及び監査期間
 - 実施場所 各保育園・幼稚園・こども園
 - 監査期間 令和7年10月21日
- 4 監査の主な実施内容

四日市市監査基準に基づき、監査対象部局への聞き取り調査や過去の監査結果を踏まえて、事務事業に内在するリスクを想定し、リスク発生の可能性や発現時の影響度の観点からリスク評価を行うとともに、財務事務や経営に係る事務の管理が法令等に適合し、正確で、最少の経費で最大の効果を挙げているか、その組織及び運営の合理化に努めているかなどについて、関係帳簿・書類の抽出調査、実査及び監査資料に基づく関係職員への質問等の方法により監査を行った。

第2 監査対象の概要

- ・市立保育園13園のうち、次の1園の監査を行った。
磯津保育園
- ・市立こども園11園のうち、次の4園の監査を行った。
八郷こども園、塩浜こども園、富田こども園、四日市中央こども園
(塩浜こども園、富田こども園、四日市中央こども園は書面監査のみ)

第3 監査の着眼点

- 1 想定されるリスクからの着眼点
事務事業におけるリスクについて事前調査でのリスク評価や聞き取りにより設定した。
【保育園・幼稚園・こども園共通事項】
 - (1) リスク評価チェックリストの検証
 - (2) 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク
 - (3) 職員配置におけるリスク
 - (4) 出先機関におけるリスク
 - (5) 施設設備が安全に利用できないリスク
 - (6) 多様化する課題に対して十分な保護者支援が行われないリスク

【保育園・こども園共通事項】

- (7) 複雑な雇用形態の中での情報共有阻害のリスク

- 2 3 E（経済性、効率性、有効性）・合規性等の視点からの着眼点
事務事業の合規性や正確性のみならず、経済性、効率性、有効性の視点等から設定した。

第4 監査結果

上記の着眼点に基づき監査を行った結果、次のとおり、内在するリスクや事務の一部に是正又は改善を要するものなどが見受けられた。今後の事務執行にあたっては、これらに十分留意するとともに、その措置を講じるよう要望する。
なお、措置を講じたときは、遅滞なく報告されたい。

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

【保育園・幼稚園・こども園共通事項】

（1）リスク評価チェックリストの検証（別表参照）

リスク評価調査においては、情報管理等点数が高いものがあるが、全体的にはリスクは低い評価となった。事前調査の結果、支出事務、公有財産管理、物品・備品管理、契約事務、文書管理について、一部事務処理誤りが見受けられた。

（2）職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク

◆ワーク・ライフ・バランスを推進するため、業務の効率化や休暇取得の促進、時間外勤務の縮減等の職員の働き方の改善がなされているか。

リスク発現への予防策・リスクの発現状況

今回監査対象園において、年間360時間を超える（*）時間外勤務を行っている職員が2人見受けられた。その主な要因は、複数の病休職員等の業務サポートなどにより、園長と主任の業務量が増大したことによる。

*「四日市市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する規則」及び「四日市市立小中学校における教育職員の在校等時間の上限等に関する規則」において、1年の時間外勤務の上限は、原則として360時間以内と規定されている。

意 見

【保育園・幼稚園・こども園共通事項】

① 保育業務の性格上難しいこともあるが、時間外勤務の予定申請は、本来事前申請である。職員への周知を徹底するとともに、引き続き申請漏れがないよう取り組むこと。

【塩浜こども園】

② 時間外勤務が年間360時間を超える職員が見受けられた。職員のワーク・ライフ・バランスの充実を図るため、働きやすい職場環境づくりを行い、働き方改革の取り組みを進めること。

【八郷こども園】

③ 職員が心身の健康を保ち、良好な状態で業務に向かうことができるよう、役職者が率先して年休を取得するとともに、職場全体で計画的な取得を推進し、すべての職員が5日以上の年休を確実に取得すること。

(3) 職員配置におけるリスク

◆新規採用職員等の経験年数の少ない職員が担任となることがあるが、相談できる職場環境づくりがなされているか。

リスク発現への予防策・リスクの発現状況

主任が面談を行ったり、クラス支援が保育のフォローに入ったりするなど、経験豊かな職員を中心としたサポート体制を整えている。一人で仕事をするのではなく、行事の準備にペアで取り組むなど、相談しやすい環境づくりに努めており、不安を抱え込むことがないよう気にかけている。また、幼児教育センターにおいて、幼児教育アドバイザーによる相談も行っている。

(4) 出先機関におけるリスク

◆保育業務と書類作成、書類の確認作業等の事務仕事を行う必要があり、出先機関であることからも、内部統制が効きづらいのではないか。保育幼稚園課と十分な連携が取れているか。

リスク発現への予防策・リスクの発現状況

書類作成等において不明な点があれば、その都度保育幼稚園課の担当係に確認を行っており、保育幼稚園課のチェックを受けている。しかし、園で処理が完結する書類に関してはチェックが入らないため、公有財産の実査記録において、最新のデータが反映されていなかった事例が見受けられた。また、保育幼稚園課との連携で支障は感じていないとのことであるが、監査対象園において支払遅延が見受けられた。

(5) 施設設備が安全に利用できないリスク

◆遊具、フェンス等の設備が安全に管理され、必要に応じて修繕等がなされているか。

リスク発現への予防策・リスクの発現状況

園職員により、遊具は毎朝、その他の設備は適宜点検を行っており、また、包括管理業務委託の受託業者も月1回全園を訪問し、点検している。現時点において、監査対象園において安全性に問題は生じていないが、修繕の必要が生じれば保育幼稚園課に連絡し、包括管理業務委託の業者が修繕を行っている。

意 見

【保育園・幼稚園・こども園共通事項】

① 遊具の錆びについて、修繕を適宜求めて早めに対応すること。他にも設備におい

て要望すべきことは積極的に要望し、安全性の向上に努めること。

【八郷こども園】

- ② 民地との境界に砂袋を置いて土砂の流出を防止しているが、芝を貼るなど、より効果的な対策を検討すること。

(6) 多様化する課題に対して十分な保護者支援が行われないリスク

- ◆保護者が子育て全般についての不安感を抱いたり、特別支援を必要とする園児などの保護者が就学前の不安感を抱いたりすることがある。様々な家庭環境により孤独感や悩みを抱えることが考えられるが、そういった保護者への対応は丁寧に行われているか。

リスク発現への予防策・リスクの発現状況

多様な課題に対する保護者支援には、保護者と職員との日常的な関わりで生まれる信頼関係が欠かせないため、登降園時に対話や交流を行い、状況に応じて家庭訪問をしている。登降園時の対話では、園児の家庭生活と園生活の様子を伝え合い、保護者と共に園児への関わり方を考えながら言葉を交わしている。保護者とはできる限り丁寧なやりとりを行うことを心掛けており、表面に現れないことでも気づけるよう、アンテナを高く張ることに努めている。特別支援の必要性を感じる場合は、こども家庭センター、こども発達支援課、あけぼの学園等と協力し、支援に繋げている。

意 見

【保育園・幼稚園・こども園共通事項】

特別支援が必要な児童が増加傾向にある中、児童発達支援センターあけぼの学園に研修を依頼するなどして、知識や技術を積極的に取り込み、引き続き特別支援のノウハウの習得に努めること。

【保育園・こども園共通事項】

(7) 複雑な雇用形態の中での情報共有阻害のリスク

- ◆正職員も含めてさまざまな雇用形態があるため、勤務時間が異なる職員間の意思疎通、情報共有が難しくなることにより、連携に支障をきたすことはないか。

リスク発現への予防策・リスクの発現状況

規程や計画は毎年4月に職員全体で確認し、事務所に配置してすぐに確認できるようにしており、打合せや研修の中で適宜確認や検討を行っている。

情報共有はクラス担任の正規職員を軸に行っているが、朝礼や引継ぎなどの必要事項はノートやホワイトボードを使用し、その時間帯にいなかつた職員が必ず確認するようしている。伝達漏れがないよう意識しており、職員間の連携に支障はきたしていない。

意 見

【保育園・こども園共通事項】

- ① 職員が早期離職に至らず安心して働くよう意思疎通を図り、各職員が自らの経験や考えを伝え合える風通しのいい職場環境づくりに取り組むこと。

【八郷こども園】

- ② 令和7年度から配置されている派遣保育士についても、情報共有の徹底や研修等の実施により、孤立しない職場環境づくりに取り組むこと。

2 3 E (経済性、効率性、有効性) 等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

指 摘

【塩浜こども園・富田こども園】

- ① 消耗品の発注について 【合規性の視点】

消耗品の購入において、数回に分けて発注している事例が見受けられた。四日市市事務専決規程では10万円以上の物品の発注は調達契約課の専決事項となっている。ルールに則り、疑惑や誤解を招くような契約は慎むこと。

【富田こども園】

- ② 人事管理について 【合規性の視点】

会計年度任用職員の無給の特別休暇の取得にあたり、上限の算定を誤り本来の上限を超えて取得した事例や、年次有給休暇が残っているにもかかわらず欠勤として処理をした事例が見受けられた。休暇の適正な取得について、改めて会計年度任用職員に周知するとともに、園長は人事課から提供される資料を参照して制度への理解を深めるなど、適正な人事管理の徹底を図ること。

意 見

- ① 内部事務管理について 【合規性の視点】

【保育園・幼稚園・こども園共通事項】

ア 内部事務の基本的な部分で、いくつかの事務処理誤りが見受けられた。これは、職員の業務に関する知識不足や単純なミスに加えて所属内でのチェック・牽制体制が十分に機能していないことに要因がある。所属長は定められたルールに基づいた事務執行の意識を職員に定着させるとともに、所属において発生しやすいミス等によるリスクを認識させ、日常的に確認すべき事項を定型化して確認するなど、内部チェック体制を整備して、内部事務管理の徹底を図ること。

特に支払遅延については法律で定められていることを再認識し、発生を防止するための有効な仕組みづくりを検討すること。

また、旅行命令においては、出張に行く前に承認を受けることに意味があるため、必ず事前に決裁を受けるよう改めること。

【磯津保育園】

イ 受付印の運用における不適切な事務処理を行うことがないよう、受付日を支払期限の起算日として捉え、適正な取り扱いを行うこと。

【保育園・幼稚園・こども園共通事項】

② ヒヤリハットの記録管理について【有効性の視点】

ヒヤリハットについては、日頃から職員が意識することが重要である。園で生じたヒヤリハットの事例は当日中に記録するよう徹底するとともに、すべての職員が確認できるよう、日中の設置場所を工夫すること。

③ 現金の取り扱いについて【有効性の視点】

金融機関への入金においては不測の事態に対応できるよう、職員数が限られた中ではあるが、できる限り複数人で行うなど体制を検討すること。

④ 暑さ対策について【住民福祉の向上の視点】

屋内での熱中症リスクに備え、保育幼稚園課に相談し、必要に応じて各部屋へのW B G T（暑さ指数）測定器の設置を検討するなど、暑さ対策の強化に努めること。

⑤ 不適切保育の防止について【住民福祉の向上の視点】

不適切保育が全国的に話題になっている。保育幼稚園課と相談のうえ、チェックリストやガイドラインの活用により、不適切保育と捉えられる範囲を正しく認識して保育業務に当たるよう、対策を徹底すること。

⑥ 外国語による伝達について【住民福祉の向上の視点】

多言語対応のニーズが高まっているため、通訳アプリだけでなく、保育幼稚園課と相談してボランティアに依頼するなど、効果的な方法を検討すること。アプリなどでは伝わりにくい保育の内容についても支障なく伝達するため、ボランティアに幼児教育センターで研修を受講してもらうなどして、保育と言語の知識を併せ持った人材として協力が得られるよう、手法を検討して取り組むこと。

⑦ 園児の卒園後の状況について【有効性の視点】

在園時の状況だけでなく、小学校で不登校になっていないかなど、卒園後の状況についても把握に努め、保育の取り組みに生かすこと。

⑧ 幼児教育センターの活用について【有効性の視点】

保育の質の向上において、幼児教育センターの活用が重要である。引き続き幼児教育センターで開催される研修の受講や実践的な保育の情報収集に取り組むこと。

【保育幼稚園課】

⑨ 例規の適正な整備について【合規性の視点】

四日市市会計規則との整合を図るため、四日市市立保育所処務規程及び四日市市立幼稚園管理規則の事務の専決においては、「一件10万円未満の物品の購入、印刷の発注、施設及び備品の修繕に係る発注に関する支出負担行為に係る支出命令に関すること。」について削除したものの、四日市市立こども園管理規則においては、園長の所掌事務に定められたままである。四日市市会計規則において出納員の分掌事務とさ

れる範囲であることから、あらためて整理を行い、適切な形に改正すること。

【こども園共通事項】

⑩ 教育の質について【住民福祉の向上の視点】

幼稚園と保育園の統合によりこども園となった場合、幼稚園のカリキュラムとは異なる年間スケジュールが組まれることがある。こども園においても、幼児教育の質の維持向上に努めること。

【磯津保育園】

⑪ 危機管理について【住民福祉の向上の視点】

企業敷地内への避難訓練及び保護者への園児引き渡し訓練を行っているが、近隣の土地の海拔が低く水が入り込みやすいため、保護者が園児を迎えに来る際に、かえつて危険となる可能性がある。危機管理課に相談しながら、最も安全な方法について隨時検討を進めること。

【八郷こども園】

⑫ 耐震対策について【住民福祉の向上の視点】

大きい家具には対策が取られているが、小さい家具にも注意を払い、棚に置かれた消耗品の落下防止など、さらなる耐震対策を行うこと。

⑬ 照明器具の更新について【有効性の視点・経済性の視点】

蛍光灯のLED化を早期に行うこと。移行の際には保育幼稚園課と相談し、リース契約など、より経済的な方法を検討すること。

評価

【保育園・幼稚園・こども園共通事項】

① インスタグラムの活用について

園からの情報発信として、個人情報に配慮しながらインスタグラムを活用して園児の様子を届けており、保護者からも評判を得ている点は評価できる。今後も各園において、効果的かつタイムリーな情報発信に努められたい。

② 安全対策について

窓への飛散防止フィルムの貼り付け、蛍光灯への飛散防止カバーの設置がなされており、安全に配慮している点が評価できる。

リスク評価チェックリスト

事前調査
R7.8.21, R7.8.25

*※先端には加算あり
※網掛けの数字は、監査でリスク発現が確認された項目

(出勤効率
と
先端も
算出)

チェック項目：リスクを内在する事象		想定されるリスク	リスクの発生可能性の程度 評価指標	リスク発現時の被害又は影響の程度 評価指標	評点
(1) 所属の主要な事務事業	許認可、不利益処分に係る事務を行っているか。 (許可、認可、給付費支給決定、使用料等の減免決定、税等の賦課決定、許可の取消し、免許の効力の停止等)	許認可等の事務が適切に行われないリスク	0 許認可等の事務なし 1 所属の主要な業務ではないが許認可等の事務あり 2 許認可等の事務が主要な業務		0
	内部統制を業務に組み入れ、遂行しているか。	内部統制事務が適切に行われないリスク	1 内部統制は、基本的に自所ののみで行う 2 部内における内部統制に関わる業務を行っている 3 全所的な内部統制に関わる業務を行っている		2
(2) 収入事務	地方税、分担金、使用料、手数料等を徴収する業務を行っているか。 (施設等使用料、保育料、市営住宅賃料、手数料等)	法令等に基づいた金額を徴収していないリスク 減免の制度又は運用が適切でないリスク 収入未済となるリスク 収入未済が適正に処理されないリスク	0 なし、又は、たまに手数料等の徴収あり 1 所属の主要な業務ではないが、定期的に行っている 2 主要な業務として毎月行っている	徴収額 1 1000万円未満 2 1000万円以上1億円未満 3 1億円以上	2
	滞納債権があるか。	滞納債権の適正な管理がされないリスク	0 滞納債権なし 1 滞納債権10件未満 2 滞納債権10件以上	滞納債権の総額 1 100万円未満 2 100万円以上	0
(3) 現金等管理	現金や金券（切手・収入印紙・駐車券等）の取扱いがあるか。	現金・金券の紛失、数え間違い、処理遅れ、差着等のリスク	0 抜っていない 1 週に1回未満 2 週に1回以上	1か月の現金・金券の取扱平均額 1 10万円未満 2 10万円以上	4
(4) 支出事務	歳出予算（給料、職員手当及び共済費並びに会計年度任用職員の公用にかかる報酬及び旅費を除く）の執行を行っているか。	不適切な金額での支出、支出相手方の誤り、支払遅延など支出が適正に行われないリスク	0 執行件数（1件当たり100万円以上のもの）の契約書の作成が必要なもの） 1 10件未満 2 10件以上	所属の支出総額（給料、職員手当及び共済費並びに会計年度任用職員の公用にかかる報酬及び旅費を除く） 1 3000万円未満 2 3000万円以上1億円未満 3 1億円以上	2
	負担金、補助金又は交付金を支出しているか。 (負担金は研修負担金を除く。)	補助金等が不適正に支出され、又は目的外に使用されるリスク	0 補助金等の予算なし 1 補助金等の予算1000万円未満、かつ運営費に対する補助金なし 2 補助金等の予算1000万円以上、または運営費に対する補助金あり		0
	扶助費を支出しているか。	扶助費が不適正に支出され、又は目的外に使用されるリスク	0 扶助費 予算なし 2 扶助費 予算あり	扶助費の支出額 1 3000万円未満 2 3000万円以上1億円未満 3 1億円以上	0
(5) 契約事務	事業者と工事請負などの契約を締結しているか。	事業者選定、金額決定等が適切に行われないリスク	0 工事請負、原課契約工事に係る契約の件数 1 なし 2 10件未満 3 10件以上	工事請負費、修繕料に係る予算の合計額 1 1000万円未満 2 1000万円以上1億円未満 3 1億円以上	0
	事業者と業務委託の契約を締結しているか。 (施設管理業務委託、事業運営業務委託など)	事業者選定、金額決定、委託業務の管理や評価が適切に行われるリスク	0 委託件数 1 5件未満 2 5件以上	1 事業事業の一部であり軽易な部分のみを委託 2 事業事業の主要な部分を委託	0
	単独随意契約の方法により工事請負若しくは修繕又は業務委託の契約を締結しているか。（工に該当する契約を除く。）	事業者選定、金額決定等が適切に行われないリスク	0 単独随意契約による工事請負若しくは修繕又は業務委託の契約の件数 1 なし 2 10件未満 3 10件以上	単独随意契約による工事請負若しくは修繕又は業務委託の契約における契約金額の合計 1 100万円未満 2 100万円以上	0
	指定管理者制度を導入しているか。	事業者選定、金額決定、委託業務の管理や評価が適切に行われるリスク	0 指定管理者制度により管理している公の施設 1 なし 2 あり		0
(6) 財産管理	プロポーザルによる契約（企画提案型のものを含む。）又は特定の地域活動組織との継続的な契約（「プロポーザル等による契約」という。）を締結しているか。	事業者選定、金額決定等が適切に行われないリスク 委託事業の仕様が不明確なものになり事業者が達成されないリスク	0 なし 2 あり	プロポーザル等による契約における契約金額の合計 1 100万円未満 2 100万円以上	0
	公有財産（土地・建物・工作物）を所管しているか。	土地、建物、工作物が安全に使用できしないリスク 保有コストに見合う効果がないリスク 有効活用（又は、市民に有効利用）されないリスク	0 なし 2 あり		4
(7) 基金	土地又は建物の貸付けを行っているか。	多額の損失発生のリスク 不適正な貸付料となっているリスク 資産が不適正又は目的外に使用されるリスク	0 なし 2 あり		0
	基金を所管しているか。	設置目的に合致した活用がなされないリスク 適切な運用とは運用益の処理がなされないリスク	0 なし 2 あり		0
(8) 情報管理	個人情報を扱っているか。	個人情報の漏えいや目的の使用、データの改ざん、滅失等のリスク	1 個人情報の取り扱い件数が、概ね100件未満である 2 個人情報の取り扱い件数が、概ね100件以上である 3 個人情報の取り扱い件数が概ね100件以上で、外部事業者とデータのやり取りがある		6
	監査年度を含む過去2年以内に、組織変更、所管替え等があつたか。	分掌事務が十分に行われないリスク	0 なし 1 部局の変更(所管業務は変更なし) 2 主要業務の所管替えや組織変更に伴う所管業務の再編成あり		0
(9) 組織・人員	在籍年数の短い職員が多いか。	所属において業務に必要なスキル（知識、経験）が継承されず、業務の処理誤りや、不正行為の見落としが発生するリスク	1 3年以上在籍する職員の数が所属の全職員数の50%以上 2 3年以上在籍する職員の数が所属の全職員数の50%未満		2
	時間外勤務を多く行っているか。	時間外勤務により、職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク 業務量に対し職員数が不足することにより、業務が停滞するリスク 特定の職員に時間外勤務が偏ることにより、業務が停滞するリスク	0 年間時間外勤務360時間以上の職員なし 2 年間時間外勤務360時間以上の職員あり 3 厚生労働省が定める過労死等労災認定基準を上回る時間外勤務を行っている職員あり		4
(10) その他	毒物・劇物・危険物等の取り扱いはあるか。	毒物・劇物・危険物等が適切に管理されないリスク	0 毒物・劇物・危険物等を保管していない 2 毒物・劇物・危険物等を保管している		0
合計点					26